

はまぼうふう vol.38 2011. 4. 1.

石狩浜海浜植物保護センター通信

HP 上ではカラーでご覧になれます

海辺の風景再発見

石狩浜を訪れる全ての人の目に映る「海辺の風景」。寄せて返す波、砂浜に点々とある貝殻、波間に遊び空を舞う鳥、遠くの山や岬、水平線、海浜植物に覆われた広大な砂丘。

あって当たり前と無意識に見ているこの風景は、今や全国稀有のもの。貝殻や漂着物、海浜植物と虫や鳥、砂丘の成り立ち、山や岬の名前、石狩湾で暮らす生きもの……。少し関心を持つと、「石狩浜の風景」が持つ価値、魅力に気づきます。

このような「きっかけ」を、今年は「海辺の風景再発見事業」などにより、広く発信したいと思います。



海の背後に広がるハマナスの大群生

海辺の風景再発見フォーラム

いのちあふれる石狩湾～海と海辺、魅力とこれからを語る～

普段目にする事の出来ない石狩湾の海中の生きものたちの映像と、石狩浜の自然誌、自然体験活動の可能性、保全の将来像について各氏からお話いただくとともに、札幌を中心に活動され自然への造詣が深い作家の横松心平氏によるコーディネートにより、石狩浜の魅力とこれからを語ります。

日時：**5月29日(日)** 開場 13:30 開演 14:00 終了予定 17:00

会場 道民活動センターかでの2・7 4F大会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)

基調講演：石狩湾 海の中の世界 ～海の生きものたちの映像講座～
(ダイビングショップゼムハウス代表 藤田 尚夫 氏)

パネルディスカッション

パネラー ダイビングショップゼムハウス代表 藤田 尚夫 氏

NPO法人ねおす理事長、ぶなの森自然体験学校運営委員長 高木 晴光 氏

北海道大学大学院農学研究院助教 松島 肇 氏

いしかり砂丘の風資料館学芸員 志賀 健司 氏

コーディネーター 作家 横松 心平 氏 (代表著書「札幌はなぜ日本人が住みたい街 No.1 なのか」他)

★ 関連イベントもございます。2ページをご覧ください。

参加費：無料 定員：150名(前日まで要申込)

主催：石狩浜海浜植物保護センター

共催：札幌市博物館活動センター・小樽市総合博物館・いしかり砂丘の風資料館

協力：札幌市環境プラザ・石狩浜環境保全連絡会議

全国モーターボート競走施行者協議会助成事業

心よりお見舞い申し上げます

東北関東大震災では、大変多くの方が被災され、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一つである宮城県名取市閼上海岸、同県七ヶ浜町の海岸は、長きに渡り「ハマボウフウ交流会」や昨年の「ふるさと海辺フォーラム」等で当センターが市民交流を深めてきた名取ハマボウフウの会、七ヶ浜ハマボウフウの会の活動の地でもあります。今年は、「ふるさと海辺フォーラム」を閼上海岸に引継ぎ、開催の準備を進めておられる矢先でもありました。地域や会の皆様のご無事と、一早い復興を願います。

海辺の風景再発見事業開催にあたり

石狩海岸は、札幌圏の人々にとって最も身近な海辺です。当たり前のように見てきたこの海辺の風景が、今や全国的にも大変貴重な存在となっている一方、過度なレジャー利用による動植物の消失、ごみの投棄と漂着、波による侵食等により危機的状況にあります。都市からの利用者、上流域からの漂着ごみは、海辺の環境問題が地元住民、地元自治体だけでなく、広域で取り組むべき課題であることを物語っています。

本事業は、石狩、札幌、小樽の広域的な連携によって取り組み、幅広い層への意識浸透を図り保全活動のすそ野を広げます。

海辺の風景写真パネル展

5月7日(土)～5月12日(木)

会場：石狩市花川北コミュニティーセンター

5月17日(火)～5月30日(月)

会場：札幌ILPラザ 2階交流広場(札幌市北区北8条西3丁目)

その他、石狩市内で順次開催します。

自然観察会

海辺の風景再発見の旅

6月25日(土)石狩海岸をバスでめぐり、地形や成り立ち、動植物など自然に触れながら学び、魅力を再発見します。石狩浜海浜植物保護センター、いしかり砂丘の風資料館、小樽市総合博物館、札幌市博物館活動センター、各館の職員・学芸員が案内します。定員40名。

予定コース(札幌駅北口発石狩市役所経由で現地へ)

- ① 石狩砂丘(石狩湾新港東埠頭付近)
- ② 石狩川河口砂嘴(石狩灯台周辺)
- ③ 石狩浜海浜植物保護センター・いしかり砂丘の風資料館
- ④ 石狩川河口右岸地域と石狩砂丘北端

自然調査体験

海辺の草原生き物調査隊

7月31日(日)海辺の草原に、小さな動物や昆虫の捕獲わなをしかけ、どのような生き物がくらしているのか、専門家と一緒に調査します。海辺の草原に生命があふれていることに気付きましょう。定員30名。

自然観察会
自然調査体験
共通して

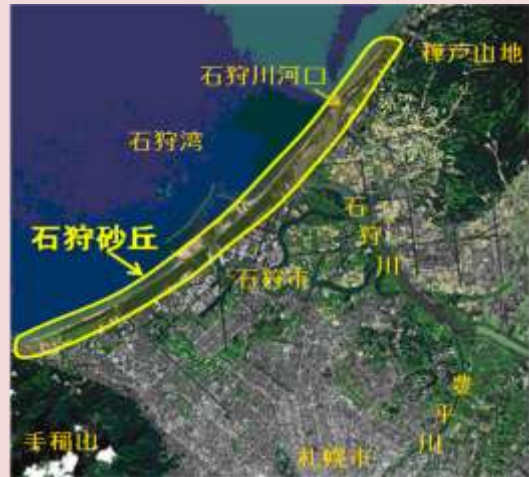
集合：9時札幌駅北口または9時半石狩市役所
対象：小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
参加費：高校生以上300円中学生以下100円
申込期日：各1週間前まで
申込先：石狩浜海浜植物保護センター

知ろう！ 石狩浜のすぐれた自然

「海岸砂丘」という地形

石狩海岸は、小樽市銭函から石狩川河口をはさみ、厚田区無煙浜まで延長約25kmにわたって連なる「海岸砂丘」という地形です。

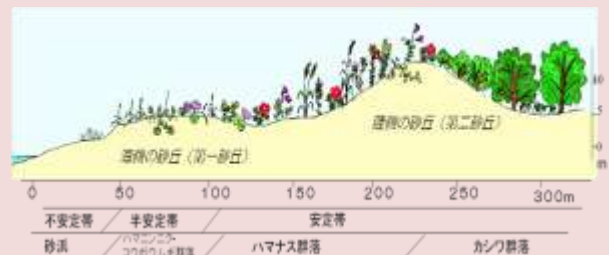
石狩川から海に運ばれた砂が、北西の季節風によって陸側に寄せられることでできたこの海岸砂丘は「石狩砂丘」と呼ばれ、日本の地形レッドデータブックにも、地形学の教育、研究において重要な地形として掲載されています。



海から内陸への連続性・つながり

砂浜海岸は本来、海からの距離に応じて和らいでいく環境条件に対応して、植生の帯状構造(ゾーネーション)が見られ、海から内陸へ連続的に植生が変化していきます。しかし、全国各地の砂浜海岸で、護岸・堤防、植林等により、本来の植生の連続性が断ち切られています。

石狩浜は、砂浜海岸本来の植生の連続性が残る希少な自然海岸です。



カシワの天然海岸林

小樽市銭函から厚田区聚富まで延長約20km最大幅約500m以上のカシワの天然海岸林は、日本最大規模。環境省が選定する「特定植物群落」のうち、郷土景観を代表する植物群落であり、人為的影響により極端に少なくなる恐れがある群落とされています。カシワは、厳しい海岸砂丘の環境に適応した樹種で、東北～北海道の天然海岸林を代表する樹種。カシワ林には、ゼフィルスと呼ばれるミドリシジミの仲間や、キタホウネンエビなど、特有の生き物が生息しています。



カシワの実



ミドリシジミの仲間

大規模な海浜植物群落

全国約 35,000km の海岸線のうち自然の砂浜海岸は約 10.5% (1998.環境省)。全国 1308 か所の砂浜海岸のうち、人工物のない海岸は 8.8% (2008, (財) 日本自然保護協会)。
全国各地の砂浜海岸で、護岸、堤防建設、内陸からの耕地や宅地の拡大等により、本来の自然海浜の姿が失われ、植物群落レッドデータブックでは「海浜草本群落」は特に絶滅の危機に瀕している群落とされています (1996, (財) 日本自然保護協会他) が、石狩浜には、大規模な「海浜草本群落」が広がります。



ハマヒルガオの群生



ハマポウフウの群生

野鳥繁殖地・中継地

広大な海浜植物群落では、多数の草原性の野鳥の繁殖地となっています。水辺は、渡り鳥の中継地となっています。これらの野鳥や、浅瀬の魚などを狙い、多種の猛禽類が飛来します。



ハヤフサ



チュウヒ

多数の絶滅危惧種・特異な生き物たち

石狩浜では **エソアカヤマアリ** が **スーパーコロニー** (大家族) を形成し、これは世界稀に見る現象です。(1983 年国際自然保護連合レッドデータブック登録)

イソコモリグモ は、砂浜海岸特有のクモで、人為的な影響を受けた海岸には生息できず、全国の海岸で数を減らしていますが、石狩浜では数多く見られます。(環境省指定絶滅危惧種Ⅱ類)

砂浜海岸特有のキノコ、環境省指定絶滅危惧種Ⅰ類 **アカダマスツボンダケ** は、近年石狩浜で発見されました。

イソスミレ は、石狩川河口砂嘴が分布の北限とされ、大群生地となっています。(環境省指定絶滅危惧種Ⅱ類、北海道指定希少種)

生物多様性・生命のつながり

海から陸への連続性を基盤とし、猛禽類や哺乳類を頂点とした海浜特有の生きもののがつながりが維持されています。

わたしたちへの恩恵・生態系サービス

海からの厳しい環境 (風、飛砂など) を緩和してくれます。高波などに対する天然の防波堤機能を果たしています。また、海水浴など快適なレクリエーションの場を提供してくれます。

最近の活動

海辺の自然塾第 5 回

1月29日(水) 「石狩湾の海水はきれいになったか～海底砂の分析・研究から～」をテーマに、藤女子大学人間生活学部教授の乗木新一郎氏にお話をいただきました。石狩湾の海底砂を円筒状の装置で採取し、年代ごとに有機炭素や窒素、亜鉛や銅などの重金属を測定した結果、1950年頃からこれらの成分が海底に多く溜まり、1985年以降再び元に戻ったようであるとの研究成果や、海の問題にも触れ、わかりやすく丁寧なお話でした。

2月16日(土) 「川と海が育む石狩湾の魚～シラウオの研究から～」をテーマに、道立総合研究機構中央水産試験場研究員の山口幹人氏にお話をいただきました。石狩川河口の砂が堆積する浅瀬で産卵し、稚魚は石狩川の塩水楔 (えんすいくさび) を利用して遡り、志美運河を通過し茨戸川へ。そこで成長して秋に川を下り、冬は沖合で過ごす。といった石狩川河口の環境に適応したシラウオの生態とその解明に至るまでの研究、またその意義などについてのお話でした。

3月9日(水) 日本生態学会札幌大会シンポジウム「日本の砂丘海岸における砂丘植生の現状と課題」において、石狩浜の海浜植物保護活動のこれまでの道のりと、植生保全のための車乗り入れ規制に向けた法令適用の可能性などについて発表しました。

その他、全国一と言われる鳥取砂丘の植生保全の経過、砂丘植生を取り巻く危機的状況とその要因、海岸植物における絶滅危惧種記載状況などについて発表がありました。全国的な砂丘植生の危機を確認するとともに、今後の取り組みとして、より多くの人に砂丘植生へ目を向けてもらう仕掛けが欠かせないこと、国・都道府県レベルでの自然公園指定に加え、市町村レベルでの保全対策が必要であること、国土交通省と連携した取り組みの必要性などが提案されました。

2011.4.1.

活動予定・参加者募集

マクンベツ地区清掃

ミズバショウシーズンを迎え、マクンベツ地区での市、企業、市民協働による清掃活動を実施します。

日時：4月16日（土）10時より2時間程度

集合：10時石狩川河川敷堤防上公衆トイレ駐車場

持ち物：軍手、火バサミ（お持ちの方）、長靴着用

主催：（社）石狩観光協会 共催：石狩市

後援：佐藤水産（株）

★申込不要・問合せ先：石狩観光協会 tel.0133-62-4611

はまなすの丘景観保全作業

はまなすの丘の海浜植物群落の景観維持のため、増えているニセアカシアやススキの除去と園路周辺のごみ拾いを行います。

日時：4月23日（土）10時～2時間程度

集合：9時50分はまなすの丘グランドセンター駐車場

持ち物：軍手・長靴着用、スコップ・クワ・手刀・剪定ばさみ等（お持ちの方）

参加申込み：4/21（木）まで

石狩浜マクンベツ湿原野鳥と花の観察会

マクンベツ湿原と石狩川河口で、ノビタキやノゴマなど野鳥、イソスミレやハマハタザオなど草花を観察して自然に親しみます。

講師：石狩鳥類研究会 樋口孝城氏 ほか

日時：5月14日（土）9時～15時

対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴）

定員：30名

参加費：高校生以上300円中学生以下100円

持ち物：昼食（飲み物・敷物等適宜）、防寒着・雨具・帽子（適宜）、動きやすい服装、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡

申込締切：5月11日（水）

4月29日（金・祝）

石狩浜海浜植物保護センターオープン

GW中は5/6（金）が休館日となります

展示予定

4月29日（金）～5月16日（月）

「海辺の花ごよみ2010」1年間の石狩浜の花や生きものの写真を展示。（展示作成：石狩浜定期観察の会）

5月19日（木）～6月20日（月）

「はまなすの丘 もうひとつの楽しみ方」石狩川河口をウォーキングしながら見えてきた河口の様々な表情を紹介。（展示作成：【花畔・網】（ばんなぐろ・ネット））

ボランティア活動スタート

参加希望者はセンターまでお問い合わせください。

石狩海辺ファンクラブ設立準備会

石狩浜の保護と利用の両立を目指し、魅力を伝える活動に取り組みます。今年の活動は・・・

- ・石狩浜魅力発見マップづくり
& フットパスルートを探る
- ・ブログで石狩浜の魅力発信
- ・「利用者心得」づくりでモラルアップを！

月一回、作戦会議を開いています。

興味のある方、どなたでも参加大歓迎。

石狩浜定期観察の会

海浜植物の開花の様子を観察、写真撮影して情報発信します。花の名前を覚えたり、写真のスキルアップも！

活動日：毎月第1、3、5水曜日

集合：9時石狩浜海浜植物保護センター

活動場所：はまなすの丘公園

★第1回は4月20日（水）

ふるさと自然塾

はまなすの丘、砂丘草原や石狩川右岸地域など、石狩海岸一帯の自然を観察、ごみ拾いなどします。

活動日・集合等は問い合わせください。

★第1回は4月23日（土）13時はまなすの丘グランドセンター集合

問合せ

4/29～11/3: 石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1 tel.0133(60)6107

申込み

11/4～4/28: 石狩市役所市民生活部内 〒061-329 石狩市花川北 6 条 1 丁目 30-2 tel.0133(72)3240

email. ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>